

魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中） 中間のまとめ

1 はじめに

魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）は、板橋区立向原中学校と板橋区立上板橋第二中学校の施設整備と適正規模・適正配置を連動させた検討を行うため、平成26年7月22日に第1回協議会を開催し、これまでに8回にわたり協議を進めてきました。

上板橋第二中学校と向原中学校は、いずれも地域に根ざし多くの卒業生を輩出し、今年度で68周年並びに56周年を迎えた歴史ある伝統校です。できることならば両校とも残していきたいという思いは協議会委員の中にも強くありましたが、学校施設の老朽化が進んでおり、両校の生徒の教育環境を整備する、また、災害時の避難所や地域コミュニティの醸成の場等としての観点からも、改築を進めていく必要があること、また、向原中学校の過小規模化は早急に解決すべき課題であることは協議会委員ひとりひとりが認識したところです。

学校や地域に対する思いは様々であり、全ての方が納得される統合案を導き出すことは非常に困難と考えておりますが、両校への支援、愛着、思いを十分に考慮したうえで、一定の方向性として、第6回の協議会において、これまでの検討結果を踏まえ総合的に判断した事務局案をお示しいたしました。

第7回から第8回にかけて事務局案に関する意見交換を重ね、総論としては事務局案を進めていくことでやむを得ないとの方向性が出されたと考えております。

ここで上板橋第二中と向原中の学校改築と統合についての方向性を確認するとともに、新校舎の基本設計について等、次の議論を開始すべく「中間のまとめ」といたします。

2 上板橋第二中学校と向原中学校の学校改築と統合についての方向性

- ①上板橋第二中学校と向原中学校を統合します。
- ②校名は「上板橋第二中学校」とします。
- ③統合時期は平成30年4月1日とします。
- ④校舎の建築期間中は、上板橋第二中学校の校舎を使用し、向原中学校校地に建設する新校舎完成後、新校舎に移転します。

3 配慮すべき事項

- ①新校舎を設計する際は、教育的効果を高めるための整備のほか、多様な教育方法を支え、現代的課題に対応する学校施設整備を推進していくこと。
具体的には、教育ICT化への対応、少人数指導をはじめとした様々な学習集団・学習形態に対応した教室、学習発表や集会など多様な交流機会を生み出す場、災

害時における避難所としての機能などを併せ持った施設のほか、保護者や地域の意見を取り入れて検討すること。

- ②統合校の通学区域については、小学校と中学校の通学区域、町会や自治会の区域及び青少年健全育成地区委員会の区域に配慮すること。
- ③跡地の活用については、地域の活性化や防災機能の向上等地域に資するよう、魅力ある学校づくりと並行し、地域の意見を聴いて検討を進めること。
- ④小中一貫教育についての検討を進め、当該区域における小中一貫教育への対応が遅れることのないように配慮すること。
- ⑤統合により生徒や保護者が混乱することのないよう、可能な限り心のケアや人的措置について配慮すること。
- ⑥通学路については、関係団体や関連部署と連携し必要な処置を講じ、安心安全の確保に努めること。
- ⑦通学する学校については、学校統合や通学区域の変更が伴うため、特段の配慮をすること。
- ⑧統合後の学校については、記念室を設置するなど学校の伝統や歴史を保存するように努めること。
- ⑨上記の他、協議会で出された意見について十分に配慮すること。

4 今後のスケジュール

平成 27 年 4 月～28 年 3 月 魅力ある学校づくり協議会

(中間のまとめの確認、新校舎の設計等について)

平成 28 年度 新校舎の基本設計

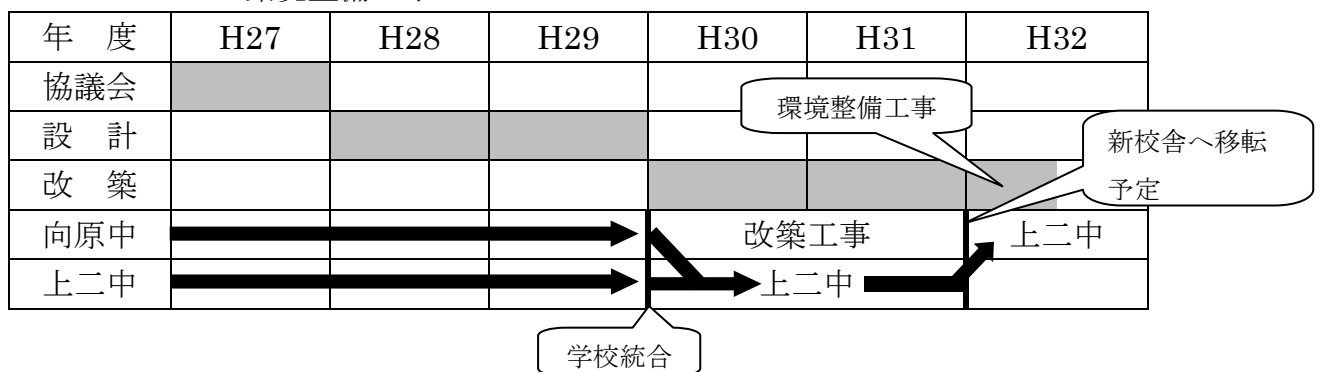
平成 29 年度 新校舎の実設計、学校統合に向けた準備

平成 30 年 4 月 学校統合

新校舎の改築工事開始

平成 31 年度 新校舎の改築工事

平成 32 年 4 月 新校舎完成、
環境整備工事



平成 27 年 4 月 17 日 教育委員会事務局学校配置調整担当課